

HEPATOLOGY NEWS

肝胆膵病態内科学ニュース

第11号 2014年6月 発行

巻頭言

梅

雨の季節となりましたが
ここ数日真夏のような猛

暑となっております。スポーツ界
ではワールドカップブラジル大会
を目前に控えて騒がしくなってき
ており、また、ゴルフでは松山英樹



が米国ツアー参戦2年目にして優勝するという快挙を
やってのけました。日本では内向き指向な若者が多く、
「草食系」男子の言葉も今や日常語になりましたが、その
一方でサッカーや野球、ゴルフ、テニスなどスポーツ界は
勿論、芸術や技術分野において海外で思う存分力を発揮
し、輝きを放っている若者もいます。言わば、日本国民も
2局化していると言えるかも知れません。しかしながら
異分化の中で揉まれ鍛えられる経験を持つ事は自分の財
産になることは間違いないと思われます。分野は異なり
ますが、私達を取り巻く医療や医学の分野も激動の時
であり、世界や国内の動きを敏感に察知し、柔軟に対応し、

Contents

巻頭言	1
病院講師 着任挨拶	2
新入医局員紹介	2
その他のスタッフ紹介	3
先端予防学の紹介	4
トピックス	5
外来表	5
ホームページの主な更新内容	6
編集後記	6

時には軌道修正しながら、結果を残すべく素早く且つグ
ローバルに行動することが求められています。また、均一
性を求められる反面、トレンドを創造して個性を前面に
出すことが必要です。そうでなければ急成長を続けるア
ジアの中ですら埋没しかねない程日本の存在感が低下し
ています。しかし、底知れない緻密な能力を日本は持って
いるはずです。我が肝胆膵病態内科学教室は情報の発信
基地になることを当初から唱ってきました。仕事は楽し
く、しかも世界レベルを保つブランドとして成長したい
と思います。(河田則文)



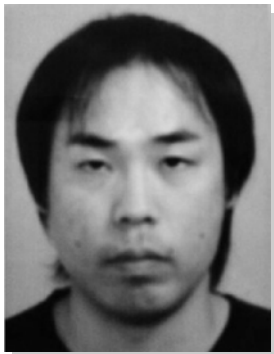
// 病院講師 着任挨拶

病院講師

小塚 立蔵

(こづか りつぞう)

本年度から病院講師となりました。研究テーマはB型およびC型肝炎ウイルスの遺伝子変異が中心です。肝炎ウイルスの治療はこの数年間で非常に進歩しており、さらにウイルスの遺伝子変異は、治療の中で応用できるようになると思われます。病棟業務だけでなく、外来も週に2回になり、毎日忙しい日々を送っていますが、今後もよろしく願います。



病院講師

元山 宏行

(もとやま ひろゆき)

平成26年4月より病院講師を拝命いたしました。現在、肝臓病を中心に消化器疾患の臨床、研究に取り組んでいます。大学院では肝線維化、星細胞を中心に研究させていただきました。肝硬変についてはまだまだ決定的な治療がないのが現状であり、少しでも貢献できるように頑張っております。臨床面では月曜日に加え、金曜日にも外来させていただくことになりました。また病棟ではできる限り患者さんの立場に立ち、満足度の高い医療を行いたいと思います。



// 新入医局員紹介

肝胆膵内科 3年目

菊川 佳菜子

(きくかわ かなこ)

この度、大阪市立大学肝胆膵病態内科学医局に入局いたしました菊川佳菜子と申します。

山梨大学を卒業後、大阪市立大学にて初期研修を2年間行いました。

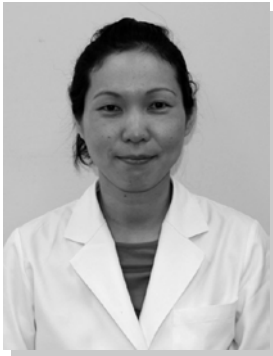
研修医2年目時に肝胆膵内科をローテーションさせていただき、腹部エコーや内視鏡と多様な手技や、そこで生き生きと働いている先輩方に惹かれ入局を決めました。



現在は大阪市立総合医療センターにレジデント1年目として日々、臨床に取り組んでいます。初期研修医時代に比べ責任も増し、様々な疾患に悪戦苦闘しながらも充実した毎日を送っています。

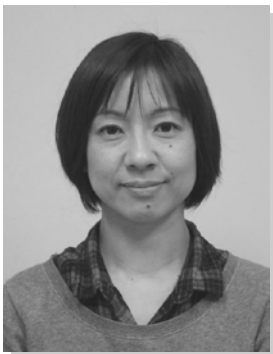
まだまだ未熟者の私ですが諸先輩方に一步でも追いつけるように、これからも精一杯努力していく所存です。宜しくお願いいたします。

// その他のスタッフ紹介



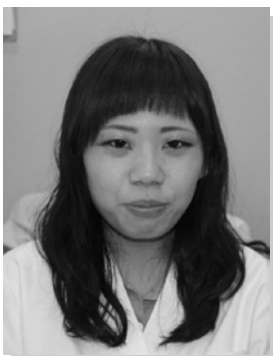
特任助教 松原 三佐子 (まつばら みさこ)

今 年4月より、研究室に特任助教として着任しました、松原 三佐子と申します。これまでに多機能性サイトカインである TGF- β の作用機序の解明を目指し、腎臓、肝臓の線維化疾患および乳癌研究を行ってきました。大阪市大ではその知見と経験を活かし、河田教授のもと、肝線維化のハイスループット評価系を構築し、肝臓疾患の治療の応用へと繋がる仕事をしたいと考えています。また、17F 研究室では研究員皆で互いに協力し、また時に切磋琢磨し、臨床の先生方が興味を持っていただけるような研究を目指して基礎研究に邁進していますので、ぜひ遊びに来てください。今後も向上心をもって日々努力していきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、よろしくお願いいたします。



研究員 早川 路代 (はやかわ みちよ)

2 014年1月より研究員をしております、早川路代と申します。現在は村上先生の下で、B型肝炎の新規治療薬開発に関する研究をしています。研究関係の仕事を10年ほどしておりますが、知識や技術など初めて知ることも多く、日々勉強しながら楽しく仕事をさせていただいております。小学生&保育園児の子供がおり、皆様にはいろいろご迷惑をおかけしておりますが、ご理解ある先生方に支えられ、こうして仕事をさせていただけることが本当に嬉しく思っております。今後ともよろしく願いいたします。



研究員 大石 敦子 (おおいし あつこ)

2 014年3月より研究員として勤務させていただいております、大石敦子と申します。近畿大学生物理工学部を今年卒業し、研究を通じて人に役立つ仕事がしたいと思っております。こちらで働かせていただくことになりました。今までしていた分野とは全く異なるため失敗と勉強の日々ですが、高度な知識や技術を熱心に教えていただける環境がとても幸せです。皆様に迷惑をお掛けすることがありますが、日々成長していけるように努力いたしますので今後ともよろしく願い致します。

// 第17回 肝類洞壁細胞国際シンポジウムの記念写真



2013年9月23 - 27日開催。ご参加ありがとうございました。

// 先端予防学の紹介

先端予防医療学
准教授
森川 浩安
(もりかわ ひろやす)



平 成 26 年 4 月より、
先端予防医療学 准教授 /
先端予防医療部附属クリ

ニック MedCity21 副所長を拝命致しました。

はじめに先端予防医療部附属クリニック MedCity21 についての概要を説明させていただきます。

MedCity21 は日本一の高さを誇り大阪の新たなランドマークであるハルカスのメディカルフロアである 21 階に平成 26 年 4 月 14 日に開所しました。MedCity21 には健診部門と総合的専門外来部門が併設されています。健診部門では、公立大学法人として全国初の附属健診センターとして、がんや生活習慣病（脳卒中、心臓病、糖尿病、慢性腎臓疾患、脂肪肝等）の早期発見・早期治療の実践のみならず、未病段階での早期介入を目的に、人間ドックを主にした健診事業を展開します。この健診事業と同時に、受診者の同意のもと、健診データ、血液や尿、遺伝子などの生体試料や遺伝子情報などを蓄積するバイオレポジトリ（バイオバンク）を構築し、それを運営・管理・解析する先端予防医療研究センターを併設して、疾病の新たな発症予測因子や危険因子、予防因子等の情報を世界に発信していきます。

また、専門外来部門では、附属病院本院との連携で、胸痛・動悸外来（月午後診、金夜診）、禁煙外来（月・金夜診）、糖尿病外来（火午後診）、生活習慣病外来（火夜診、木午後診）、肝炎・肝炎卒後外来（火夜診、金午後診）、ピロリ外来（月夜診、木午後診）、機能的消化管障害外来（月夜診）、呼吸器一般外来（木夜診）、喘息・COPD・睡眠時無呼吸症候群外来（金午後診）、前立腺（PSA）外来（木夜診）、男性更年期（LOH 症候群）外来（金午前診）、妊婦検診外来（火・木午後診、夜診、第 1・3 土午後診）、コルポ診外来（第 1・3 水午後診）、乳腺専門外来（木午後診；準備中）、脳ドック説明外来（月・木午後診）、美容皮膚科外来（自費診療；火夜診、月・木・金午後診）、

一般皮膚科外来（火・土午後診）を行います。
[午前診 =9:00-12:00, 午後診 =13:00-16:30,
夜診 =17:30-20:00]

大きな特徴として、女性が安心して健診や診察を受けて頂けるように、レディースエリアを設け、女性医師と女性スタッフによる乳がん検診、子宮がん検診、コルポ診外来、妊婦健診外来、乳腺専門外来、美容皮膚科外来を行っています。

さて、近況ですが、この原稿執筆段階では、着任後 2 ヶ月が過ぎようとしています。新たな事業であることと 21 階という高層階からくる高揚感も落ち着き、多種の業務に追われながら仕事をしております。新事業ですから、当然未決定のものが多く、これを決め、記録していくという作業に労力が費やされます。今までに気にも留めていなかった事案や怒りを覚える事案、反対に響きを買う事案もあり苦労しています。振り返れば、肝胆膵内科在籍時代は、黒木教授、塩見教授、西口教授、羽生教授、河田教授をはじめとする諸先輩方が築いてこられた功績のうえに胡坐をかかせていただいていたと感じます。しかしながら、大学では希少な新事業ですから、肝臓領域の自身の興味あるテーマを好き勝手にやらせていただいた経験を基に、今度は領域を拡げ、さらに森川カラーを色濃くしたテーマにファイトしていきたいと画策しております。

追記 皆様も人間ドックを受けられませんか。標準コース 48,000 円、がんコース男性 76,000 円、女性 94,000 円です。また、エグゼクティブコースは男性 195,000 円、女性 222,000 円で Marriott ホテル宿泊・57 階での豪華夕食つきです。

大阪市立大学医学部附属病院
先端予防医療部附属クリニック

MedCity21



肝胆膵内科 トピックス【2013年4月～2014年5月】

- June 9：打田先生の透析患者に対するHCV 療法の論文がJ.Virology & Antiviral Research にaccept されました
- May 27：榎本先生のHBV 非侵襲的線維化診断に関するReview がWJG にaccept されました
- May 2：萩原先生の膵癌に関する研究課題が厚生労働省科学研究費に採択されました
- Apr：学振科研費 Hai 若手B内定
- Mar 25：藤井先生のAlcoholic liver disease に関するReviewがWJG にaccept されました
- Mar 20：川村先生のPET によるHCC 診断に関する論文がJGH にaccept されました
- Mar 16：田守先生の血液疾患例に対するHBV 再活性化の論文がJGH にaccept されました
- Mar 5：Daclatasvir/Asunaprevir を用いた第3 相臨床試験の共同研究成果がHepatology にaccept されました
- Jan 20：Hai さんのHBV DNA integration と肝発がんに関するReview がWJG にaccept されました
- Jan 14：17th ISCHS のMeeting Report がFibrogenesis Tissue Repair にAccept されました
- Jan 13：萩原先生の肝癌のソラフェニブとCDDP 治療に関する論文がCancer Sci にaccept されました
- Dec 23：ダクラタスビル/PEG/RBV 併用第2 相試験の共同研究成果がAntiviral Therapy に2 報Accept されました
- Dec 11：榎本先生のIFN とDAA についての総説がHepato Res にAccept されました
- Oct 5：元山先生のヒト慢性肝組織におけるサイトクロビン発現の論文がLab Invest にAccept されました
- Oct 4：榎本先生のペグリバとEPO 併用についての論文がHepato Res にAccept されました
- Sep 23 - 25：17th ISCHS と27th HSRJ を開催しました
- Sep 12：新たに村上先生の研究テーマが厚生労働科学研究費に採択されました
- 本教室から2課題の快挙
- Aug 16：厚生労働科学研究費が採択されました
- Aug 13：森川先生の府立大学との共同研究が朝日新聞夕刊に記事として掲載されました
- Aug 12：田守先生のB 型肝炎に関するReview がWJG に採択されました
- Aug 12：Hai さんのITPA SNPs に関する論文がJGH に採択されました
- Jul 17：大阪市大重点研究A に採択されました
- Jul 17：萩原先生の肝がん消失症例報告がIntern Med に掲載されました
- Apr 9：学振科研費 Le Thuy 若手B、藤井、榎本基盤C、河田基盤B が内定しました

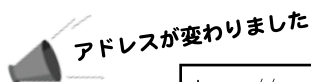
大阪府立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 外来表

	月	火	水	木	金
1 診	河田 則文	田守 昭博	森川 浩安	河田 則文	田守 昭博
2 診	榎本 大	村上 善基	岩井 秀司	榎本 大	村上 善基
3 診	小塚 立蔵	打田 佐和子	打田 佐和子	萩原 淳司	萩原 淳司
4 診	元山 宏行	川村悦史	川村悦史	小塚 立蔵	元山 宏行

肝胆膵病態内科学ホームページの主な更新内容 (2013年6月~2014年5月)



- 肝臓病教室のページをリニューアルしました。
(開催スケジュール、配布資料バックナンバー、開催の様子などを追加し、より分かりやすくなりました。)
- 2013年度医局説明会の案内を掲載しました。
- Hepatology News のページに第10号を掲載しました。
- メディア掲載情報のバナーを作成しました。
- 以下のページは随時更新しています。
トピックス、主催学会・研究会、スタッフ紹介、外来診察担当表、研究費一覧、国際活動、論文一覧、関連病院



<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/index.html>

編集後記

今年も暑い夏が始まろうとしています。

肝胆膵内科も菊川佳菜子先生を新たに迎えて熱気にあふれています。

『Go for the Top 熱くなれ!!』というのは3年続く在阪球団のチームスローガンです。我々も一丸となって専門研究領域のトップをめざして努力しています。(恋するフォーチュンクッキーもチームワークで完成しました。)

10月5日(日)には、河田教授が当番をされる第52回日本消化器病学会近畿支部主催・市民公開講座をアベノハルカス25階会議室にて開催致します。皆様には、診療されている患者さんやお知り合いに案内していただくと幸いです。(先着200名限定の会です。応募方法は医局にてご案内致します。)

来年度もさらに多くの新入局員を迎えることが私の目標ですが、教室員各自が自分の目標も持って絶えず進んで行くことを期待しています。

OBの先生方のご支援もよろしくお願い致します。

(医局長 田守昭博)



HEPATOLOGY NEWS

肝胆膵病態内科学ニュース

第11号 2014年6月 発行



発行者 / 大阪市立大学大学院医学研究科
肝胆膵病態内科学
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
TEL: 06-6645-3811 FAX: 06-6645-3813
編集委員 / 田守昭博